

2008 - 2009 年度 東日本区理事方針

東日本区次期理事 清水 弘一

理事主題	「前へ、明日へ、世界へ」 “ Step Forward . For the Future, into the World ”
副題	「心をひとつに希望を持って、チャレンジ 2000 !」 “ One Heart with Hope, Challenge 2000 ”

1 . 基本方針

区の更なる発展を計るため、東日本区 2000 名に挑戦する。
2010 年横浜国際大会の成功に向けて、クラブ、部、区の活性化を図る。
YMCA の公益法人制度改革に寄与する。
区の健全な財政基盤を確立する。
次代を担う、新しい人材を発掘する。

2 . 重点目標

中期 3 か年計画の実行と今年度目標の達成。
2000 プロジェクト委員会の推進。
思いやりと発想の転換。
YMCA との確かな協働。
社会的な認知度を高める運動。

3 . 各事業の主なる行動目標

(1) 地域奉仕事業

所属 Y M C A との相互理解と協働プログラムの更なる推進
A S F 事業を通じて中小 Y M C A スタッフ育成支援プログラムの推進
環境問題への取り組みを開始する。

(2) 会員増強事業と P R

クラブ、部の会員増強 3 か年計画を策定し、その初年度目標を確実に実行する。
2000 プロジェクト委員会と協調し、各部とも新クラブ 1 の設立を目指す。
C S 活動を積極的に展開し、あらゆる地域広報ツールを利用して、広報活動を強化する。

(3) 国際・交流事業

ユース、所属 Y M C A との連携のもと、クラブレベルでの U G P 運動を展開する。
2010 年の国際大会に向けて、I B C , D B C 交流を強化する。
国際へのゴール目標を達成する。

(4) ユース事業

東日本区の英知を結集し、次世代のワイズと Y M C A を担う若者を育てよう。
東日本区 3 番目の国際認証ユースクラブの設立を目指そう。
2010 年国際大会ユースコンボケーションの企画と準備を、ユースクラブの主体的な協力を得て進める。

(5) メネット事業

- 2000 プロジェクト委員会との協働歩調
- 2010 国際大会メネットプログラム準備への参画
- メネット会強化への具体策の検討

(6) 区2000プロジェクトの推進

中期3か年計画に基づく目標達成に向かって、区2000プロジェクト委員会、EMC事業委員会並びに部2000プロジェクト委員会は、65クラブと一体となって推進する。

今年度の達成目標を実現する。(新クラブ 7クラブ、会員増強 300名)

区2000プロジェクトの推進、目標達成のために、JEF指定献金を募る。

4. 2010年横浜国際大会に向けて

東日本区はホストリジョンとして大会準備委員会がスタートしました。大会テーマには環境問題が取り上げられ、まもなく具体的なテーマが決まろうとしています。東・西日本区のメン・メネットは、世界のワイズメン・メネットの期待に応えるため、心ひとつとなって準備を進めて行かねばなりません。そのリーダーシップを取るのには東日本区の私たちです。絶大なるご支援とご協力をお願いいたします。国際大会準備への道のりが、東日本区ワイズ活性化への道でもあります。

5. 2008~2009年度東日本区の目標

担当	事業	2007~2008年度		2008~2009年度	
地域奉仕	CS+ASF	1,250円/人	2,000US\$	1,250円/人	2,000US\$
国際・交流	BF	2,000円/人	20,000US\$	2,000円/人	20,000US\$
	TOF	1,300円以上	10,000US\$	1,300円以上	13,000US\$
	EF		4,000US\$		4,000US\$
	JEF	800,000円		1,000,000円	
E(新クラブ設立)		2クラブ	2クラブ	7クラブ	3クラブ
MC(会員増強)		100名	100名	300名	300名
LT(リーダートレーニング)		2回		2回	
区報		3回		3回	

* 各年度の右欄は国際への目標金額、目標数字です。

6. おわりに

すべての人を一つにしてください

< 国際聖句より >

「誰でも一番偉い者になりたい人は、すべての人に仕える者になりなさい」

(マタイによる福音書 23章 11節より)

P・W・アレキサンダーのことばより

「イエスキリストの教えとは、キリストの論理的な教えということの意味し、自分の救い主として受け入れるという神学的な信条を意味するものではない……ワイズメンであることは、人々が何を信ずるかによるのではなく、何をなすかによるものであります。」